

第8回世論調査結果

第8回世論調査は「国際姉妹都市縁組」をテーマに富士市と外国の結びつきについて、市民のみなさんはどのような考え方をお持ちなのかをつかむために行いました。このほど調査結果がまとまりましたので、そのうちの主な項目をお知らせします。

「国際姉妹都市縁組」について

経済、教育、文化を理解し国際感覚の育成に役立つから…賛成67.1%



- 富士市が外国と姉妹都市縁組をすることについてどう考えますか。

「賛成」は67.1%、「反対」は8.7%、「わからない」は23.6%でした。

性別では賛成は男72.0%に対し女62.3%、反対は男9.2%に対し女7.8%と違いがみられました。

年代別の特徴としては若い人ほど賛成が多く、20代では70.4%、60歳以上は57.6%です。また反対は、高年代ほど多く、60歳以上は10.3%、20代は6.7%です。

職業別では賛成が多かったのは、学生(78.6%)、事務、技術者(77.1%)、商工経営者(74.0%)などであり、反対が多かったのは、学生(14.3%)、主婦(11.5%)、専門管理職(10.9%)などでした。

- 賛成、反対のそれぞれの理由はどんなことか。

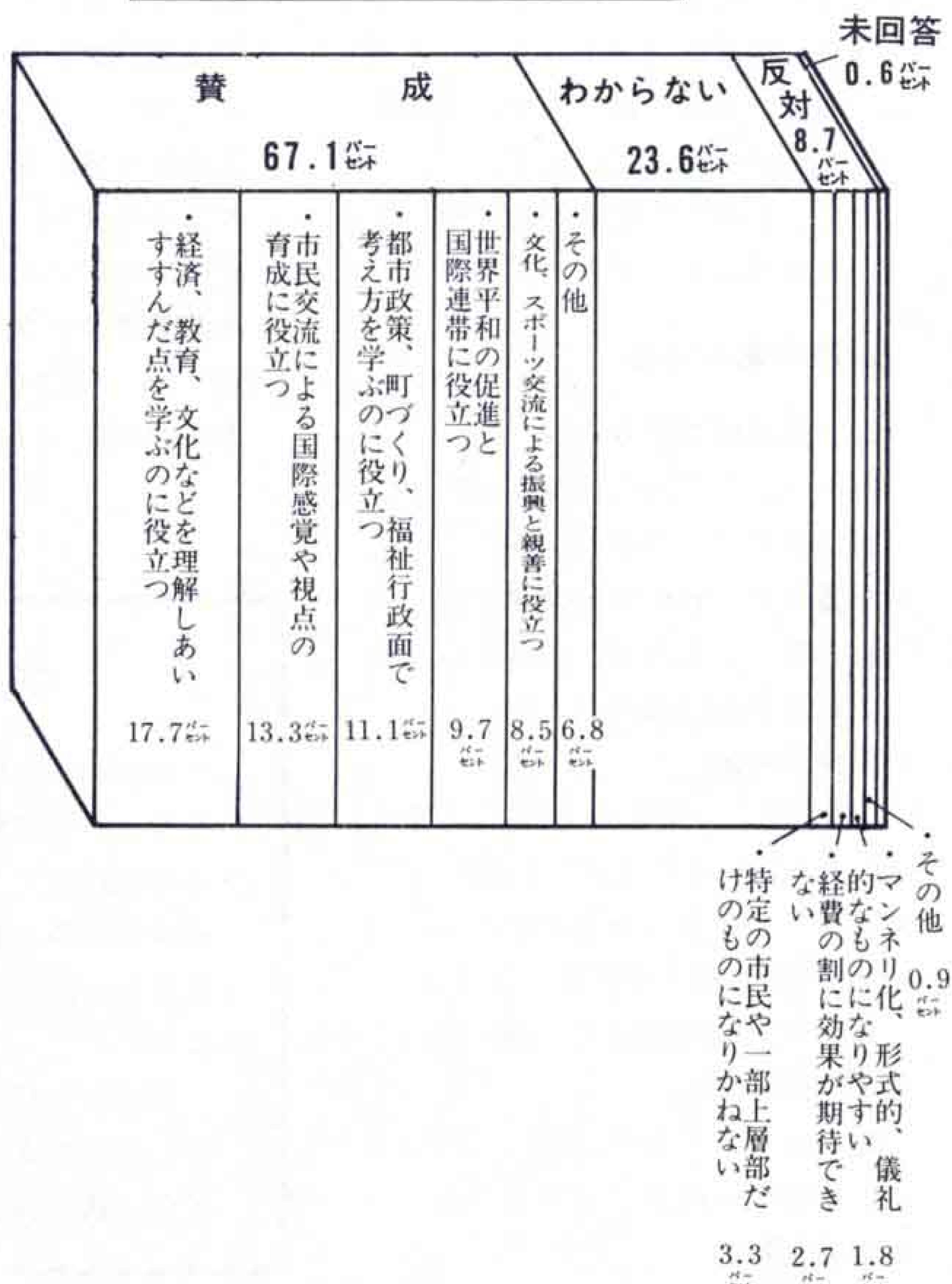
賛成の理由として「経済、教育、文化などを理解したい、すすんだ点を学ぶのに役立つ」が17.7%、「市民交流による国際感覚や視点の育成に役立つ」が13.3%、「都市政策、町づくり、福祉行政面で考え方を学ぶのに役立つから」11.1%と目立ったところです。

また、反対の理由としては「特定の市民や一部上層部だけのものになりかねない」3.3%、「経費の割に効果が期待できない」2.7%、「マンネリ化、形式的、儀礼的なものになりやすい」1.8%などが主なものでした。

調査対象は市内在住の成人男女1,388人を無作為抽出しておこない、1,274人(91.8%)の回答をいただきました。

回収結果

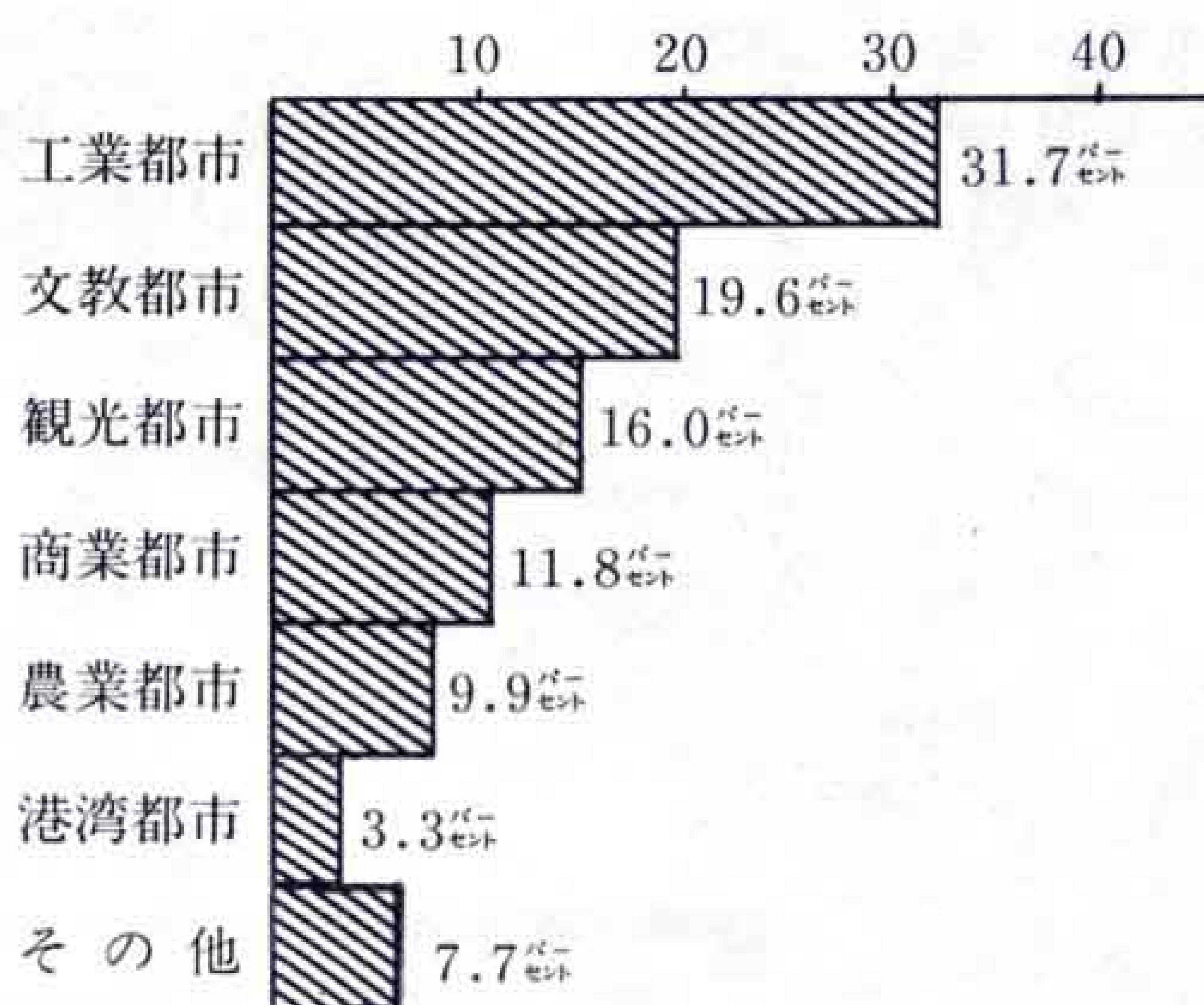
対象者	1,388人
回 収	1,274人 (91.8%)
男	628人
女	618人
内訳	不明 28人



■国を選ぶとしたらどこですか。

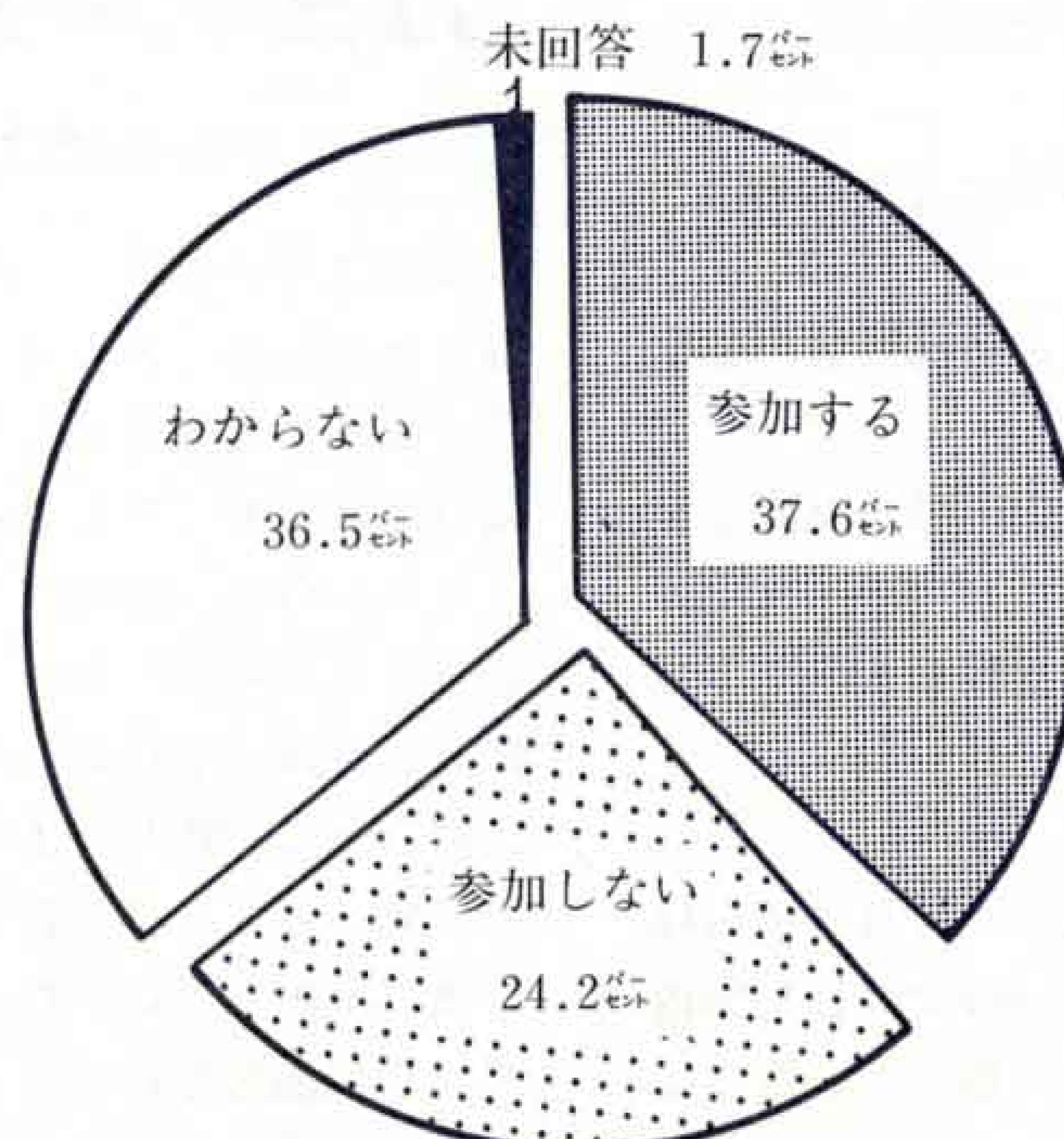
記入した人は70.7%、わからないと未回答は合わせて29.3%です。

記入された国の中位5位までは①アメリカ(24.4%)、②カナダ(17.2%)、③スイス(11.8%)、④フランス(7.4%)、⑤中国(5.9%)の順でした。



■姉妹都市を選ぶ場合、どのようなことを基準にしたらよいですか。

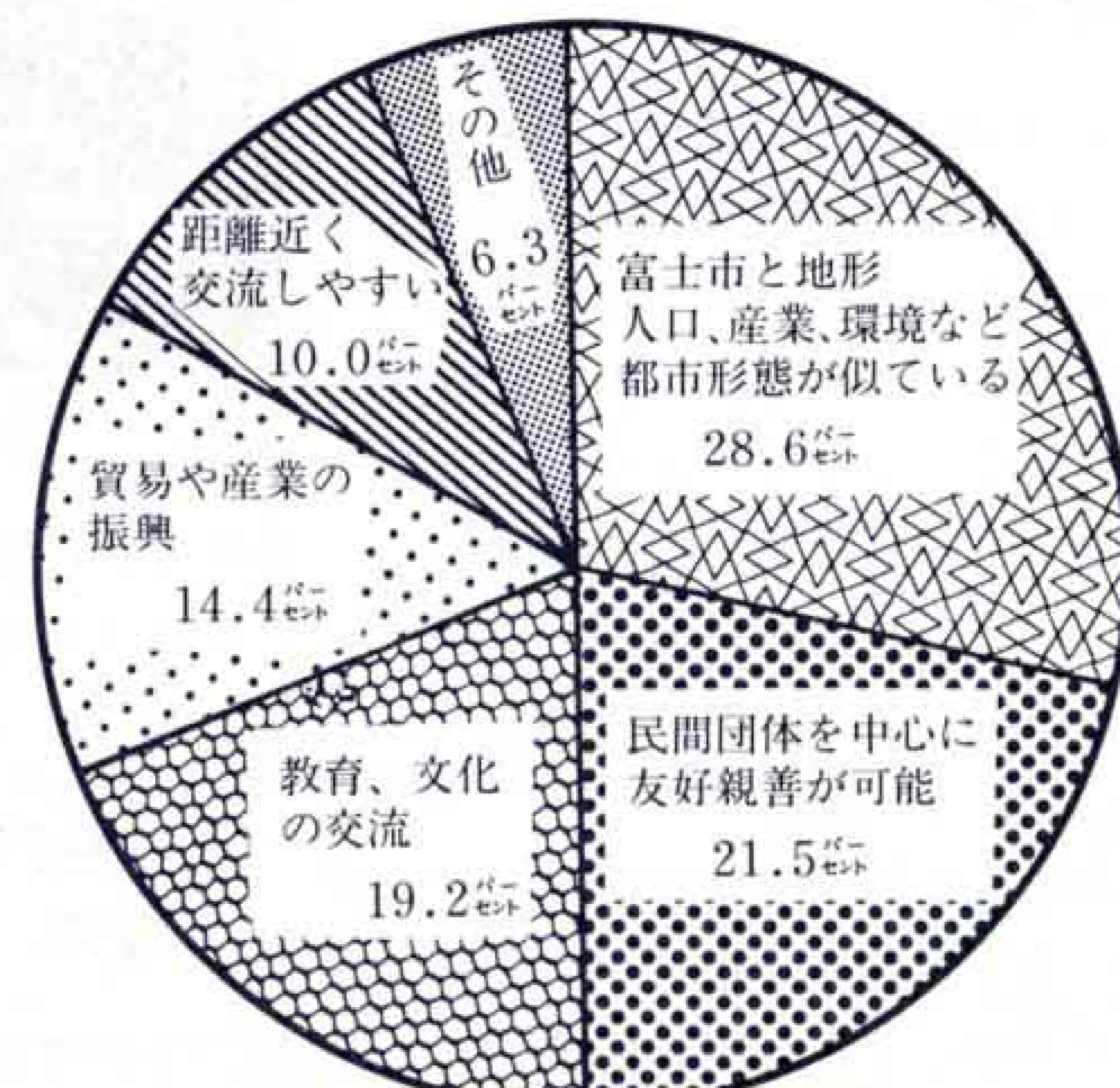
「富士市と地形、人口、産業、環境など都市形態が似ている」をあげた人が28.6%と最も多く、この順位は性別、年代別共に変わりません。次いで「民間団体を中心に、友好親善が可能な都市が21.5%、「教育、文化交流のことを考えて」19.2%などが目立ちました。



■姉妹都市縁組をするとしたらどんな都市がよいと思いますか。

工業都市を希望する人が31.7%、文教都市が19.6%、観光都市が16.0%の順となっています。

男女別にみると男性が、文教都市18.8%、観光都市15.9%に対して、女性は文教都市21.2%、観光都市16.2%で、男性を上回っています。



■姉妹都市が出来た場合、訪問団の一員としてとして参加する意志がありますか。

「参加する」と答えた人は37.6%、「参加しない」は24.2%、「わからない」と未回答は合わせて38.2%でした。

性別では「参加する」が男44.4%、女31.4%と違いがありました。また年代別では若い人ほど「参加する」が多く、20代の45.2%に対し、60歳以上は23.6%でした。

「参加しない」はこの反対の結果で、60歳以上の46.7%に対し20代は14.8%でした。